

2008 年度後期授業アンケート集計結果について（全体的特徴）

『アンケート集計概要』

後期授業アンケートは①経済学部所属教員担当科目、②経営学部所属教員担当の通年科目、③非常勤講師担当の両学部共通科目・経済学部の科目・経営学部の通年科目を対象に実施した。（2008年11月のFD推進委員会提案により教授会承認）ただし、上記科目を受講している学生は当然のことながら、経営学部の学生、科目等履修生他も含まれる。後期授業アンケート集計結果は、前期実施科目とも異なる為、設問1で「経済学部〇〇学科」と回答した学生を抽出し、経済学部全体の集計結果としてまとめた。（2007年度後期授業アンケートを同様な抽出により、経済学部全体の比較対象とした）

【属性】（設問1～設問4）

アンケートに答えた経済学部の学生累計数は、経済学部経済学科 929名（68.1%）、同コミュニティ福祉政策学科 304名（22.3%）、同臨床福祉コミュニティ学科 131名（但し1年生のみ、9.6%）である。

学生の学年別分布は、1年 37.9%、2年 27.3%、3年 24.9%、4年 8.7%、5年以上 1.2%、学年なし 0.1%などであった。

【学習意欲】

まず、「出席率」のなかの、欠席回数（設問5）では、「欠席回数0回」が40.8%、「欠席回数1～2回」が38.0%、「3～4回」が18.2%、「5回以上」が3.0%であった。その欠席理由（設問6）については、「寝坊」39.1%、「病気等」34.4%、「就職活動」13.1%で、「授業がつまらない」と答えた学生が2007年度後期（以下前回）12.4%から今回7.0%に減ってきている。前回のアンケートとの違いは、「欠席回数3～4回」「欠席回数5回以上」が減り「欠席回数0回」「欠席回数1～2回」がその分やや増えている点と欠席理由で「病気等」と回答した学生が前回の28.5%から34.4%に増えている点である。また欠席理由で「その他」を選んだ理由を記述式で見ると、アルバイト、自動車免許取得、実家帰省、家庭の事情と思われる理由も変わらず見られた。

「授業参加の目的・動機」では、「必須」35.0%（前回30.7%）、「時間割を埋めるため」20.8%（前回25.4%）、「シラバスを見て興味が沸いた」20.3%（前回20.0%）、「先輩や友人からすすめられた」14.4%（前回9.6%）、「資格取得に必要なだから」9.6%（前回は質問事項なし）の順であった。授業参加に際して（設問9）は、「シラバスを読んで興味をもった」31.4%に対して、「シラバスの内容を見ていない」で参加している学生の割合が59.0%である。シラバスの内容を見ていない学生の割合は、前回は53.1%と約6.0%増加している。シラバスで参考になった点で記入したもの（記述式②）を見ると、「授業計画に毎回の授業内容が詳しく載っておりイメージしやすかった」、「授業内容に興味をもち受講した」、「成績評価が参考になった」という回答が多い。またシラバスで改善して欲しいこと（記述式②）

で記入したのを見ると、「もっと詳しく書いてほしい」、「授業の雰囲気がわかるような写真や過去の受講生からのメッセージを載せてほしい」と言った要望も見られた。

「意欲的取り組み」（設問 8）については、「復習を全くしたことがない」が 41.2%と復習を全くしない学生の割合は前回は 40.3%と変わらず高い。学科別では、復習を全くしない学生の割合が最も低いのは臨床福祉コミュニティの 23.7%であった。復習を「1 毎回している」「2 ほとんどしている」「3 出題された時のみ」と回答した学生の割合は、経済学科が約 3 割、福祉の学科が約 4 割を示し、復習をして授業に臨んでいると思われる学生の割合は前回とほとんど変わらなかった。

【授業評価】

教科書の理解に関して（設問 10）は、「十分理解できる内容」が 24.7%、「理解できる」が 60.5%であり、学科別で見ても、教科書を指定している授業の約 8 割の学生が教科書は適切であったと回答している。

授業の創意工夫（設問 11、設問 12）について、まず補助教材（設問 11）については、「非常に役に立った」と「役に立った」と答えた学生は 76.1%であった。また板書（設問 12）については、「非常に分かりやすい」「分かりやすい」が前回の 58.6%から今回 69.3%に増加し、反対に「やや分かりにくい」「非常に分かりにくい」が前回 21.8%から今回 13.6%に減少している。「分かりにくい」と答える理由を記述させた（記述式⑤）ところによれば、細かく書きすぎで見にくい、字が汚い、途中から書き加えられるのでノートに書くスペースがなく板書しづらい、ノートに書く前に黒板を消してしまう、などが指摘されている。板書そのものではないが、難解な上に説明も本文も読んで一方的なものだった。大事なことは口頭で述べるだけでなく書いて欲しいとの意見も見られる。教員の話し方・説明（設問 13）については、「分かりやすい」と答えた学生は 61.7%で、前回の 54.3%に対し、7.4 ポイント増加している。学科別で見てもそれほど差異はない。「分かりにくい」と答える理由を記述させた（記述式⑥）ところ、説明が速く理解出来ない時があった、本文を読むだけのところが多かったからなどが指摘された。宿題・レポートの難易度（設問 14）については、「適切である」が 49.1%、「やさしすぎる」が 1.6%と 5 割近くの学生が宿題・レポートは適切であったと回答している。また、授業の難易度（設問 15）に関連して、授業について「十分理解できる」と「理解できる」と答えた学生は 79.9%（前回は 70.6%）と高く、補助教材を含む授業についての創意工夫の効果も影響しているのかどうかは断定できないが、8 割以上の学生が理解しやすいと回答している。

【学究意欲】

授業に出席して内容に満足できたかどうか（設問 16）については、68.8%（前回は 62.6%）の学生が満足したと答えている。大変良かったと思われる点（記述式⑧）では、色々な表現をしながらわかりやすく教えてくれた。また質問や疑問も聞きやすい雰囲気が良かった。教科書で重要な所は強調してわかりやすく説明して頂けた。という意見があった。